

公平・公正な選挙の執行に尽力 伊達様一さんに総務大臣表彰

長年にわたり内子町選挙管理委員会委員を務めている伊達様一さんが、4年7月10日に行われた第26回参議院議員通常選挙において総務大臣表彰を受けました。

伊達さんは平成25年から同委員となり、29年2月からは委員長に就任しています。現在、委員長2期目で、選挙時には各投票所の巡回や、ミスのない開票がされるよう努めるなど、公平・公正な選挙のための適正な管理

に尽力しています。今回は、その功績が認められての受賞となりました。

愛媛県南予地方局で表彰状が伝達され、「受賞は選挙に対する町行政の姿勢や、関係者らの協力によるもの。今後委員長としての責任を果たし、任期を全うしたい」と気持ちを新たに伊達さん。有権者には「地方の暮らしを良くするための大切な一票。無駄にしないよう投票所に足を運んでほしい」と呼びかけました。



表彰状を手にし、感謝の気持ちを語る伊達さん

社会のために私たちができること 内子中の生徒が救援金を町に寄託

トルコ・シリア地震で被害に遭った人々の力になりたいと3月3日、内子中学校のエコ委員の徳田彩音さんと納堂大空さんが町長室を訪れ、救援金4070円を町に寄託しました。

同校ではアルミ缶やエコキャップを回収してい



跡を継ぐ息子を、背中に感じながら作業を続ける大森太郎さん

内子町の和蠟燭職人の大森さん 県政発足150年に名誉の受賞

愛媛県政発足150年式典が2月20日、県民文化会館で開かれ、大森太郎さんが県政発足記念日知事表彰を受けました。

同賞は県行政の振興に對して特に功績が顕著な人々を顕彰するもので、大森さんは和蠟燭の保存伝承に尽力していること

が認められました。蠟燭を何度も手塗りして乾かし、年輪状に太らせていく和蠟燭は、県指定伝統特産品にも指定されています。

大森さんは「素晴らしい賞で、先代の父も喜んでいてと思う。これからも根気強くコツコツ頑張りたい」と笑顔で話しました



町長室を訪れた旧エコ委員長の徳田さん(左)と納堂さん(中)

内子の自然環境を学ぶ一助に―― NPO法人が活動成果を本にして寄贈

環境学習などに取り組むNPO法人「内子未来づくりネットワーク」が3月10日、『内子の川の生きものハンドブック』300冊を、町内の小学校などに寄贈しました。

この本は、同法人が三浦保愛基金を活用して令和2～4年に町内で実施

した、水生生物観察会の成果をまとめたもの。参加した児童たちが見つけたカゲロウやトンボなど68種類を掲載しています。代表の小野里枝美さんは「環境学習に利用し、小田川などの自然を守る気持ちをもち続けてほしい」とメッセージを送りました。



寄贈したハンドブックを手にする小野さん(左)と林純司教育長

地域の温かさ、小田分校生の笑顔―― 小田の魅力を伝えに奔走した3年間

3月末で3年間の任期を終える地域おこし協力隊の小田原希実さんの活動報告会が3月19日、文化交流センタースバルで行われました。

小田原さんの主な任務は小田分校の魅力づくり。教育プログラムの立案や寮の環境整備などをして、町内外からの入学者数を増やすことに力を入れてきました。2年連続で入学者数が31人を切る

の中、小田原さんの活動が実を結び、4年度には39人が入学しています。

報告会で小田原さんは「温かく見守ってくれた皆さんのおかげで、活動を続けられた。その温かさや明るくまっすぐな生徒たちはかけがえのないもの。今後小田分校の魅力化に携わっていききたいので、このすてきな学校がどうすれば残せるのか、一緒に考えてもらえたらうれしい」と思いを語りました。



小野植正町長から表彰状を受け取った横田さん

内子らしさあふれる建物と 長年の美化活動に「景観まちづくり賞」

「令和4年度景観まちづくり賞」が決定し、3月16日に町長室で受賞者に表彰状が贈られました。同賞は内子町の良好な景観形成に貢献した個人・団体を表彰するもので、今年度は建築部門で横田酒店、啓発活動部門で河野杉雄さんが受賞しま

した。横田酒店は漆喰やなまこ壁で仕上げた美しいデザインが高く評価されました。所有者の横田光敏さんは「店の100周年に荣誉ある賞をもらいうれしい。内子の酒文化を広げる拠点になれば」と喜びを語りました。

※河野さんは36ページの住人十色で紹介しています。



1_3年間の活動を笑顔と感謝で締めくくった小田原さん 2_卒業生の2人も報告会に駆けつけてくれた